

昭和八年 中福岡地方労働争議の概況

1、争議発生の原因と業態別

本年中の労働争議は発生数四十一件参加人員千七百六十四人にして、之を前年の四十六件参加人員三千百八十九人に比すれば引續き争議減少の傾向を示してゐる。而して從來不況に因る事業不振の爲に労働条件の低下に對する防衛的争議を主としたのが、最近のインフレーション景氣に因る特殊工業や石炭鑛業や或は亦海運業等の活況は漸次賃金値上、労働強化反對の積極的争議へ推移しつつあることは次の原因別や業態別件數に依り觀察することが出来る。

- a、原因別發生件數
- 一、解雇反對に因るもの 昭和八年中一一 同七年中一三
 - 一、賃金値上要求に因るもの 一〇 六

- 一、労働強化反對に因るもの 七
 - 一、賃金値下反對に因るもの 五
 - 一、賃金支拂要求に因るもの 四
 - 一、其他 四
 - 合計 四一
- b、業態別發生件數

業態	件數	参加人員
一、石炭鑛業	八	二五三
一、旅客運輪業(兼合自動車)	四	七三
一、印刷製本業	二	二三
一、活動館其他の興業	四	七一
一、金屬品	二	七三
一、運送業	三	一二三
一、木竹類製造業	五	一七六